

第三次東京都子供読書活動推進計画（第三次計画）

概 要

○計画期間：平成 27 年度～平成 31 年度

○目標 1 不読率の更なる改善(H25→H31)

(国の目標)

	H25	H31	H35目標		H24	H34
小2	26%→	1.8%→	1.3%	小学校全体で2%以下を目指す。	小	4.5%→
小5	5.4%→	3.8%→	2.7%		中	16.4%→
中2	13.2%→	9.2%→	6.6%		高	53.2%→
高2	31.8%→	22.3%→	15.9%			

※不読率とは、1 か月の間に1 冊も本を読まなかった児童・生徒の割合を指す。授業中に読んだものは含まない。
※「本」に次のものは含まない。教科書、学習参考書、漫画、雑誌、図鑑、写真だけの写真集・絵だけの絵本、画集。

○目標 2 読書の質の向上

(1)読む本の質の向上

読書の幅を広げ読解力をつける。

(2)読書に主体的に関わる態度の育成。

読書に喜びを感じたり、目的を持って本を読んだり、考えを深めたり、他人に伝えたりする。

○目標 3 読書環境の整備

区市町村における子供読書活動推進計画策定の推進及び読書活動を支える人材の育成。

読書状況調査および読書活動取組状況調査

■ 第二次計画・三次計画に基づき、隔年実施(平成 21, 23, 25, 27年度)

(1)実施期間 平成 27 年 10 月上旬～10 月中旬
(この 1 か月間に本を読みましたか)

(2)調査対象

【読書状況調査】対象：都内公立学校の児童・生徒
(高校 2 年生のみ全数調査、他の学年は抽出)

【読書活動取組状況調査】対象：①都立学校及び都内公立小中学校、②区市町村教育委員会、③区市町村読書活動主管課（図書館等）

(3)調査方法 質問紙により実施

※平成 25 年度は夏休みを含む時期を対象としたが、平成 27 年度は通常の学校生活での不読率を把握するため、平成 23 年度以前と同様に、第 2 学期以降の時期を対象とした。

調査結果

児童・生徒の不読率

1 か月間に本を読んでいない児童・生徒の割合（％）

	H19	H21	H23	H25	H27
小2	5.8	5.7	5.0	2.6	3.3
小5	9.0	8.4	9.4	5.4	5.0
中2	23.4	25.0	20.6	13.2	11.1
高2	47.8	55.5	51.6	31.8	36.8

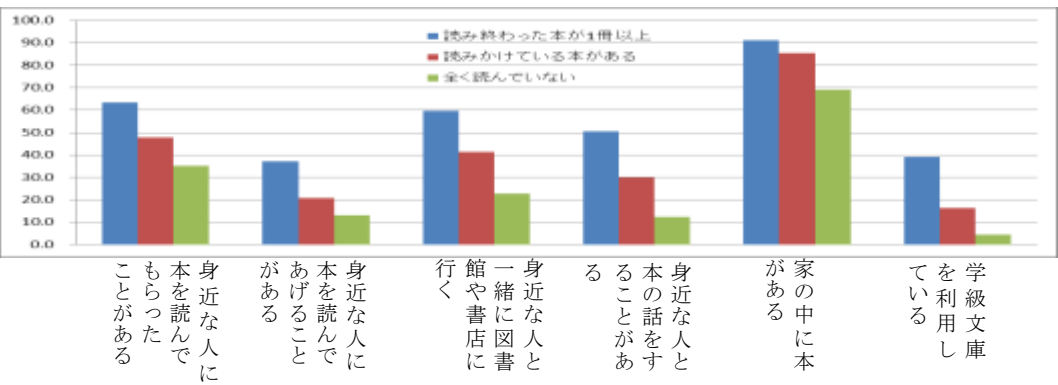
(網掛け；前年度調査より改善)

◎児童・生徒の不読率

長期的には改善の傾向が見られるが、平成 25 年度調査と比較すると学年により改善している学年と悪化してしまった学年がある。特に高校 2 年生については悪化している。

身近な環境

本を読んでいる児童生徒と読んでいない児童生徒の身近な環境の違い（％）



取組の課題

◎一斉読書の取組

朝や昼休み等に読書時間を設定している（％）

	H19	H21	H23	H25	H27
小学校	88.3	94.7	94.5	94.6	85.8
中学校	76.0	89.3	88.6	90.1	96.3
高校	7.0	12.0	18.2	26.3	25.6

◎課題図書・推薦図書の取組

独自の「課題図書」等のリストを作成している

	H19	H21	H23	H25	H27
小学校	39.4	46.6	51.4	51.5	58.9
(内訳)全校	25.3	34.2	38.7	40.5	44.1
一部	14.1	12.4	12.7	11.0	14.8
中学校	46.2	52.2	51.6	55.8	57.4
(内訳)全校	32.8	35.7	37.8	39.7	41.8
一部	13.4	16.5	13.8	16.1	15.6
高校	34.1	51.8	55.5	62.5	56.5
(内訳)全校	13.2	21.1	25.4	44.6	37.2
一部	20.9	30.7	30.1	17.9	19.3

本を読まなかった理由

読まなかった理由（％）

	読みたい本がなかった	読む時間がなかった	読むことに興味がない	文章、字を見るのが嫌い	どれもあてはまらない	無回答
小2	29.3	20.2	33.3	21.2	14.1	7.1
小5	44.8	31.1	44.8	31.5	9.1	0.8
中2	44.6	34.4	46.5	27.0	6.0	1.7
高2	36.0	39.8	34.1	12.6	7.6	5.0

(網掛け；各学年の回答が多い項目上位 2 つ)

◎本を読まなかった理由

小中学生では「読むことに興味がない」「読みたい本がなかった」との回答が多く、高校生では「読む時間がなかった」次いで「読みたい本がなかった」との回答が多い。

※(参考)全国 1 か月間に本を読んでいない児童・生徒の割合（％）

	H19	H21	H23	H24	H25	H26	H27
小	4.5	5.4	6.2	4.5	5.3	3.8	4.8
中	14.6	13.2	16.2	16.4	16.9	15.0	13.4
高	47.9	47.0	50.8	53.2	45.0	48.7	51.9

学校読書調査報告（全国学校図書館協議会）

国の目標数値の基準である全国学校図書館協議会実施学校読書調査の不読率についても年度により改善と悪化を繰り返している状況が見受けられる。

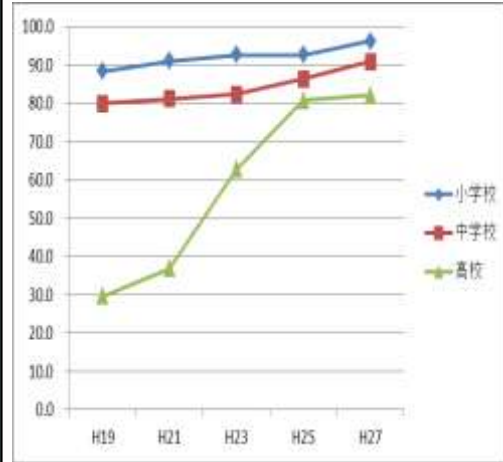
◆不読率の改善に大きな効果が見込まれる一斉読書の取組が小学校及び高校では減少している。
◆学校による取組として独自の課題図書の取組や教師の推薦図書の紹介の取組が高校では減少している。

教師の推薦図書を生徒に紹介している

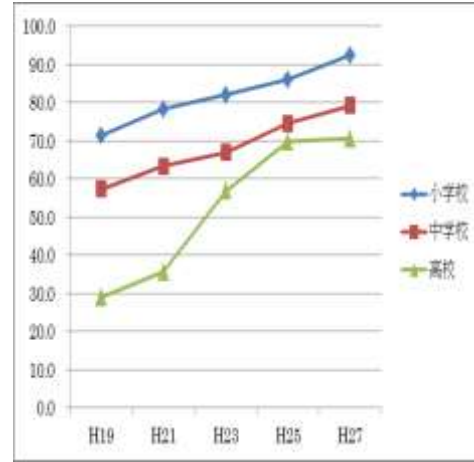
	H19	H21	H23	H25	H27
小学校	78.9	85.6	83.9	81.9	86.2
(内訳)全校	45.4	51.3	55.4	52.7	57.0
一部	33.5	34.3	28.5	29.2	29.2
中学校	71.6	80.5	79.6	81.4	81.9
(内訳)全校	41.8	51.3	55.7	53.2	54.1
一部	29.8	29.2	23.9	28.2	27.8
高校	64.4	82.5	79.7	87.0	80.7
(内訳)全校	33.4	48.0	48.3	62.1	53.3
一部	31.0	34.5	31.4	24.9	27.4

学校全体の読書活動推進に向けた取組

◎学校経営方針に読書活動の推進を位置付けている学校(%)



◎学校経営方針に学校図書館活用の推進を位置付けている学校(%)



学校図書館の利用状況(%)

	H25	H27
小1	95.3	95.9
小2	94.6	95.8
小3	90.1	92.4
小4	89.8	92.1
小5	84.3	89.4
小6	79.7	85.5
中1	69.9	74.1
中2	49.8	61.0
中3	44.1	53.6
高1	45.7	45.5
高2	39.4	42.1
高3	55.8	57.1
高4	38.7	51.7

学校経営方針に「読書活動の推進」や「学校図書館活用の推進」が位置付けられ、学校全体で読書活動推進に取り組もうとする学校は増加している。

児童・生徒の学校図書館の利用も全体的に増加しており取組の成果があらわれている。

東京都教育委員による平成27年度働きかけ

<高校への働きかけ>

- 調べ学習支援講座：学校の求めに応じて実施
- 生徒と図書館をつなぐ取組開始

<成長段階に応じた全体への働きかけ>

- レファレンスサービスの実施
- 学校への講師派遣
- 啓発資料の配布、作成
- 言語能力向上推進事業の実施
- 学校や図書館での先駆的な事例の共有化（生まれる前からの取組、学校図書館リニューアル事例、子供司書、異年齢交流のための読み聞かせ講座、発達障害の取組事例）
- 有識者からの読書について啓発資料のホームページ掲載（発達障害、読書の効能）

高校における不読率の改善

◎不読率50%以上の高校の数(校数)

	H21	H23	H25	H27
全日	132	111	50	39
定・通	24	20	19	16

不読率が著しく高い(50%以上)学校は減少しており、底上げがなされている現状が確認できる。

◎定時制・通信制高2の不読率(%)

	H21	H23	H25	H27
不読率	47.9	46.2	42.7	39.2

また、高2は全体では数値が悪化しているが、定時制・通信制では改善している。

読書が好きな児童・生徒の割合

本を読むことが好き(%)

	H25	H27
小2	59.6	60.0
小5	45.1	46.3
中2	33.9	36.9
高2	28.7	31.4

日本や海外の生活・文化について読んだ(%)

	H27
小2	—
小5	47.6
中2	31.4
高2	31.1

今後、本を読むことが好きという児童・生徒が増えていき、読書会など本を読んで思ったことを伝える場を設定しているか、日本や海外の生活や文化について書かれた本を読むなど読書の幅が広がったか等の設問項目に注視していく。

学級活動等の読書会等の実施(%)

	H25	H27
小学校	72.6	96.2
中学校	24.8	61.4
高校	27.4	57.5

今後の取組

◎平成28年度の読書活動の取組

<高校への働きかけ>

- 不読率の結果が良くない都立高校について研修センターで実施の「読書活動Ⅰ」の研修への出席を促す（不読率50パーセント以上の学校を対象とする）

- 不読率が飛躍的に改善した都立高校での取組事例収集

- 改善が進まない都立高校について聞き取り、改善した学校の取組事例についての情報提供

- 都立図書館による都立高校への選書支援

（中高生向け新着図書の情報、書評が取り上げられた図書情報の提供）（モデル事業）

- 都立多摩図書館による高校生へのおすすめ本紹介（モデル事業）

（オリンピック・パラリンピックの開催に向けた日本や海外各国の生活や文化の紹介、キャリア教育、理数教育など、高校で重点的な取組必要なテーマを検討し、関連するおすすめ本を紹介する。モデル校との意見交換等も行いながら進める）

- 生徒と図書館をつなぐ取組

（生徒に都立図書館の司書の業務などを体験し、校内での読書活動を広めてもらう取組。参加人数などを拡大し、読書を通じた学校間の交流の場としていく）

<成長段階に応じた全体への働きかけ>

- 言語能力向上推進事業の実施（小・中・高・特別支援 65校）

- 学校や図書館での先駆的な事例の共有化（不読率の改善した学校の取組、区市町村における家読の推進、子供司書、異年齢交流、等の取組事例紹介）

- 読み聞かせスキルアップ啓発資料を作成（本を読むことに興味を持たない子供へ等の読書支援として、区市町村や学校における読み聞かせボランティアのスキルアップのための啓発資料（DVD）を作成・配布する）

